

## 第2部 常時監視以外の調査結果

### 第1 概説

## 令和4年度大気汚染定期監視結果概説

### 1 目的

微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）の成分、湿性大気（酸性雨）、有害大気汚染物質、地球温暖化物質やオゾン層破壊物質であるフロン類等など多様な大気汚染の実態を把握し、今後の総合的な環境保全行政推進の基礎資料を得る。

### 2 実施機関

霞ヶ浦環境科学センター

### 3 調査期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

### 4 調査方法

PM<sub>2.5</sub>は1地点、酸性雨は1地点、有害大気汚染物質は8地点、フロン類等は5地点、石綿は1地点でそれぞれ調査を行った。

### 5 結果の概要

#### (1) 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）成分分析調査

土浦保健所で調査を行った結果、季節別の質量濃度平均値は夏季及び秋季（10.0  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）の濃度が最も高く、次いで冬季（8.0  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）、春季（7.9  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）と、いずれの季節も環境基準の年平均値（15  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）よりも低い値であった。

イオン成分については春季及び夏季は硫酸イオンの比率が高く、秋季及び冬季は硝酸イオンの比率が高かった。

#### (2) 湿性大気（酸性雨）汚染調査

土浦で調査を行った結果、pHは10月に最小値5.01、2月に最大値6.64となった。平均値は5.59と昨年度と同様の値であった。ECは12月に最小値9.08  $\mu\text{S}/\text{cm}$ 、1月に最大値24.60  $\mu\text{S}/\text{cm}$ となり、平均値は12.86  $\mu\text{S}/\text{cm}$ と前年より上昇した。

#### (3) 有害大気汚染物質調査

大気汚染防止法に定める有害大気汚染物質のうち22物質を対象とし、調査地点は、全国標準監視地点として日立市役所、土浦保健所、筑西保健所（令和4年12月まで）、筑西（令和5年1月から）、神栖消防、神栖下幡木、土浦中村南の7地点、地域特設監視地点として鹿嶋平井の1地点で行った。

揮発性有機化合物類（11項目）は8地点で毎月行い、六価クロムを含む金属類（7項目）、酸化エチレン、ベンゾ[a]ピレン、アルデヒド類（2項目）について、7地点で調査を行った。この結果、環境基準又は指針値（環境基準等）が定められている15項目については、全地点で環境基準等を満たしていた。

#### (4) フロン環境濃度測定調査

年平均は、CFC-11が0.24 ppbv、CFC-12が0.52 ppbv、CFC-113が0.068 ppbvで

あり、前年とほぼ同様の値であった。

その他の濃度の高かった主な物質は、四塩化炭素、HCFC-22、HFC-134a、HCFC-141b、HCFC-142b で、県平均は各々0.083 ppbv、0.31 ppbv、0.17 ppbv、0.063 ppbv、0.024 ppbv であり、前年とほぼ同様の値であった。

#### (5) 石綿調査

土浦保健所で調査を行った結果、一般環境における大気中の石綿濃度（総繊維数濃度、石綿繊維数濃度）は、総繊維数濃度が夏季0.45 本/L、冬季0.31 本/L であり、石綿繊維数濃度が夏季0.12 本/L 未満、冬季0.12 本/L であった。

表1 定期監視測定方法

	測定地点名	測定場所	測定期間	試料採取期間	測定項目	測定頻度	試料採取法	分析法
微小粒子状物質成分調査	土浦保健所	土浦市下高津2-7-46 土浦保健所測定局局舎	令和4年5月 ～令和5年2月 (春夏秋冬の4季節)	2週間	炭素成分 有機炭素、無機炭素  イオン成分 NH4+、Na+、K+、Mg2+、Ca2+、Cl- NO3-、SO42-  無機元素成分 Na、Al、Si、K、Ca、Sc、Ti、V、Cr、 Mn、Fe、Co、Ni、Cu、Zn、As、Se、Rb、 Mo、Sb、Cs、Ba、La、Ce、Sm、Hf、W、 Ta、Th、Pb	4回/年	フィルター捕集法  フィルター捕集法  フィルター捕集法	サーマルオプティカル・リフレクタンス法  イオンクロマトグラフ法  酸分解/誘導結合プラズマ質量分析法
湿性大気汚染調査	土浦	土浦市沖宿町1853 霞ヶ浦環境科学センター	令和4年4月 ～令和5年3月	約1ヶ月間	pH、導電率  イオン類 NH4+、Na+、K+、Mg2+、Ca2+、 Cl-、NO3-、SO42-	1回/月	自動開閉式採取法 (wet only)	pH ガラス電極法 導電率 電気伝導度計法 イオン類 イオンクロマトグラフ法

	測定地点名	測定場所	測定期間	試料採取期間	測定項目	測定頻度	試料採取法	分析法
有害大気汚染物質調査	日立市役所	日立市宮田町1-44 日立市役所測定局局舎	令和4年4月 ～令和5年3月	24時間	(鹿嶋平井を除く6地点については全項目測定、 鹿嶋平井については揮発性有機化合物のみ測定)	1回/月		
	神栖消防	神栖町溝口4991-5 神栖消防測定局局舎			揮発性有機化合物 ベンゼン		揮発性有機化合物 容器採取法	揮発性有機化合物 ガスクロマトグラフ質量分析法
	神栖下幡木	神栖町下幡木4130 神栖下幡木測定局局舎			トリクロロエチレン テトラクロロエチレン クロロホルム			
	鹿嶋平井	鹿嶋市平井1350-45 鹿嶋市総合福祉センター敷地内			アクリロニトリル 塩化ビニルモノマー 1,2-ジクロロエタン			
	土浦中村南	土浦市中村南1-1413-1 土浦中村南測定局局舎			ジクロロメタン 1,3-ブタジエン 塩化メチル			
	土浦保健所	土浦市下高津2-7-46 土浦保健所測定局局舎			トルエン			
	筑西保健所 (～令和4年12月)	筑西市甲114 筑西保健所測定局局舎			アルデヒド類 ホルムアルデヒド アセトアルデヒド		アルデヒド類 固相捕集法	アルデヒド類 高速液体クロマトグラフ-紫外線吸光度法
	筑西 (令和5年1月～)	筑西市二木成615 筑西測定局局舎			金属類 ニッケル化合物 ヒ素及びその化合物 マンガン及びその化合物 クロム及びその化合物 ベリリウム及びその化合物 水銀及びその化合物		金属類 フィルター捕集法	金属類 誘導結合プラズマ質量分析法
					六価クロム化合物		水銀及びその化合物 金アマルガム捕集法	水銀及びその化合物 加熱気化冷原子吸光光度法
					多環芳香族炭化水素 ベンゾ[a]ピレン		六価クロム化合物 アルカリ含浸ろ紙	六価クロム化合物 イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度計分析
				酸化エチレン		多環芳香族炭化水素 フィルター捕集法	多環芳香族炭化水素 高速液体クロマトグラフ-蛍光検出法	
						酸化エチレン 固相捕集法	酸化エチレン ガスクロマトグラフ質量分析法	

	測定地点名	測定場所	測定期間	試料採取期間	測定項目	測定頻度	試料採取法	分析法
フロン 環境 濃度 測定 調査	土浦保健所	土浦市下高津2-7-46 土浦保健所測定局局舎	令和4年5月 8月 11月 令和5年2月	24時間	(土浦保健所のみ) トリクロロフルオロメタン(CFC-11) ジクロロジフルオロメタン(CFC-12) トリクロロ-1, 2, 2-トリフルオロエタン (CFC-113)	4回/年	容器採取法	ガスクロマトグラフ質量分析法
	日立市役所	日立市宮田町1-44 日立市役所測定局局舎			(全地点) 四塩化炭素			
	神栖消防	神栖町溝口4991-5 神栖消防測定局局舎			1, 1, 1-トリクロロエタン クロロジフルオロメタン (HCFC-22) 2, 2-ジクロロ-1, 1, 1-トリフルオロエタン (HCFC-123)			
	筑西保健所 (令和4年5, 8, 11月) 筑西 (令和5年2月)	筑西市甲114 筑西保健所測定局局舎 筑西市二木成615 筑西測定局局舎			1, 1-ジクロロ-1-フルオロエタン (HCFC-141b) 1-クロロ-1, 1-ジフルオロエタン (HCFC-142b) ジクロロペンタフルオロプロパン (HCFC-225ca及びHCFC-225cb) 1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン (HFC-134a)			
石綿 調査	土浦保健所	土浦市下高津2-7-46 土浦保健所測定局局舎	令和4年8月 令和5年1月	4時間×3日間	総繊維数濃度 石綿繊維数濃度	2回/年	フィルター捕集法	走査型電子顕微鏡法